

2年

図工

# ひみつのグアナコ

1人1台

さいたま市立七里小学校

## ●目標

- 作品のイメージに合う場所に作品を置いて写真を撮り、教室に戻って、自分の作品への思いを振り返る。
- 「なぜその場所で写真を撮ったのか」を友だちと伝え合うことで、お互いの作品に込められた思いや良さに気付く。

## ●本時のめあて




友だちと写真に撮った作品を見せ合いながら、作品の違いや良さに気付こうとしている。

## ●ICT活用のポイント

- タブレットPCの画面が大きいので、撮った写真をその場で確認でき、撮り直しの判断ができる。
- グループ交流時にタブレットPCの画面をそのまま見せて説明できる。
- 授業支援ソフトの巡視画面で全員の作品を一覧で確認できる。

## ●利用するスマイルクラスの機能

- 授業支援ソフト

	学習活動	ICT活用
一斉 導入	<p><b>1. 前時の振り返りと、今時の学習課題を確認する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 頑張ったところや工夫したところを振り返り、作品をつくったときの思い出を振り返る。</li> <li>• 先生の作品を例に写真を提示することで、活動の見通しを持てるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>グアナコのお気に入りの場所を見つけて、友だちにつたえよう</p> </div>	<p><b>場所を見つけて撮影する</b></p>  <p>作品のイメージに合う場所を見つけ、タブレットで撮影する。</p>
個別 展開	<p><b>2. 作品の写真を撮る。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分の作品のイメージに合っている場所を探し、作品を置いて写真を撮る。</li> </ul> <p><b>3. グループで伝え合う。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 撮った写真の中から1枚選び、それを相手に見せながら説明することで、自分の作品への思いに改めて気付かせる。</li> <li>• 「どうしてその場所が良かったのか」を問うように助言することで、作品に込めた思いを自分の言葉で伝えるようにする。</li> </ul>	<p><b>自分の言葉で説明する</b></p>  <p>この場所で撮った理由を自分のことばで説明し、グループ交流する。</p>
協働 まとめ	<p><b>4. 鑑賞カードを記入し、感想を発表する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• カードに記入することで、友だちが作品に込めた思いや、感じたことなどを振り返る。それを発表することで、いろいろな考えに触れられるようにする。</li> </ul>	<p><b>友だちの思いを振り返る</b></p>  <p>カードに、わたしのナンバー1作品とその理由をまとめる。</p>



# ジャストスマイル クラス 活用ポイント

1. 全員の活動状況を先生が手元で確認
2. 作品をテレビに大きく映して発表



授業支援ソフト

## 活用例

### 全員の活動状況を手元で確認

教室や廊下や中庭など、作品に合った場所を探して写真撮影する子どもたち。写真を撮れたか、どんな写真を撮ったか、先生は手元のタブレットPCで確認できます。



### どこにいても確認できる巡視画面

校内ネットワークに繋がる範囲なら、巡視画面で全てのタブレットPCの画面をモニターできます。写真を見て、発表してもらう子を事前に選ぶこともできます。



タブレットPC画面をリアルタイム表示

## 活用例

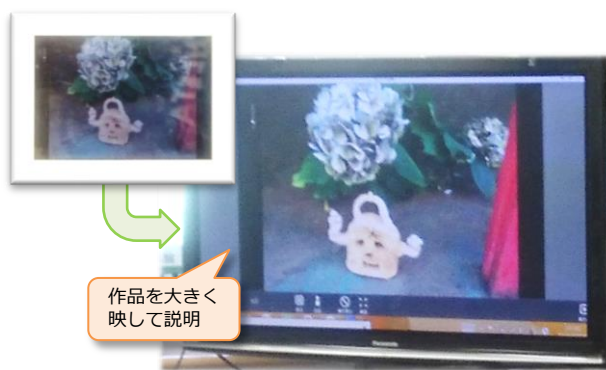
### グループ交流で思いを再認識

上手に伝え合うために会話の型を使います。質問してもらうことで、作品に対する思いを再認識させます。友だちの作品の素敵ところをカードに書いて共有し、いろいろな考えに触れさせます。



### 電子黒板に大きく映して発表

先生が指定した子どものタブレットPC画面を、電子黒板に大きく映すことができます。作者の説明を聞いたり、感想を話し合ったり、クラス交流に役立ちます。



作品を大きく映して説明

## ●OnePoint

### 子どもたちが撮影した写真をあとで先生がまとめて評価

子どもたちがタブレットPCで撮った写真をあとで先生が評価するには、タブレットPCを1台ずつ起動しなければならないので非常に面倒です。スマイルクラスには、撮った写真をサーバーのフォルダに自動アップロードする仕組みが備わっているので、先生は簡単に写真を提出させることができ、評価に専念できます。

2年  
道徳

生き物を育てる 「りすとひまわり」

1グループ1台

国立大学法人福岡教育大学附属久留米小学校

● 目的

- 読み物の中でひまわりを世話するりすの気持ちを考え、生き物に優しく接する態度を育てる。
- グループで考えをまとめ、関連付け、その内容をクラス全体に説明する活動を通じて、多くの考えを共感・関連させながら動植物を愛護する価値を追求できるようにする。

● 本時のめあて



資料を基に、生き物の気持ちを考え  
継続的に世話する大切さを話し合う。

● ICT活用のポイント

- グループ活動で、付せんを貼り付け整理したホワイトボードを、タブレットで撮影する。
- グループのタブレット画面を電子黒板に転送表示して共有する。画像ファイルの提出や共有を伴わないため、低学年でも操作に無理がなく、授業の流れがよくなる。

● 利用するスマイルクラスの機能

- 授業支援ソフト

	学習活動	ICT活用
一斉 導入	<p>1. 自分の飼育体験を想起し、生き物を育てることのめあてについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活科で植物を世話した際の映像などを提示し、子どもたちが自らの体験を基に、生き物と関わるときの気持ちや育て方を想起させ、本時学習の問題意識を持たせる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>生き物を育てる自分を見つめよう。</p> </div>	
協働 展開	<p>2. 資料を基に、ひまわりを育てるりすの気持ちや考えについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ひまわりを世話するりすの様子を記した資料を基に、りすの具体的な行為の中から、その価値について考える。</li> <li>追求したい場面を決め、りすの気持ちについての考えを、付せん（紙）に書き、グループで話し合いながらホワイトボードに意見をまとめ、それをタブレットで撮影する。</li> </ul> <p>3. タブレット画面を電子黒板で共有し、役割演技を通じて気持ちをとらえ、整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>グループのタブレット画面を電子黒板に転送表示して内容を説明し、さらに、役割演技でりすの気持ちを確かめ合う。</li> </ul>	<p><b>ホワイトボードを撮影する</b></p>  <p>グループで付せんをまとめたホワイトボードをタブレットで撮影する。</p>
一斉 まとめ	<p>4. 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>あらためて、植物の世話など自分たちの体験を振り返り、本時で追求したりすの気持ちと照らし合わせながら、これからの自分が、どういう気持ちで生き物と関わり合っていくかを考える。</li> </ul>	<p><b>電子黒板で全体共有する</b></p>  <p>タブレット画面を電子黒板に表示し、グループの意見を全体で共有する。</p>



# ジャストスマイル クラス 活用ポイント

1. 話し合いの結果をカメラで取り込み、クラス共有
2. 巡視モードで発表グループを選び、大きく表示

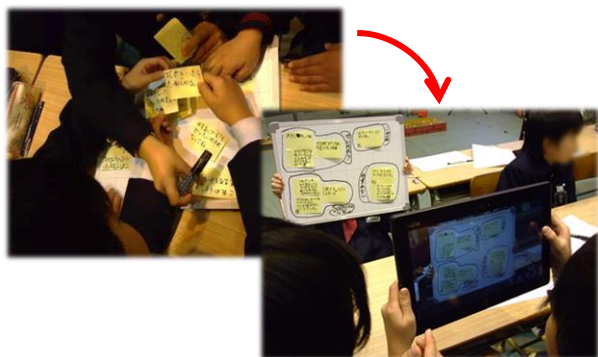


授業支援ソフト

## 活用例

### 話し合いの結果を撮影

付せん（紙）に意見を書き、グループでホワイトボードを使って分類・整理します。それをタブレットで撮影し、電子黒板に表示して発表。低学年でも簡単に使えます。



## タブレット画面を電子黒板に転送

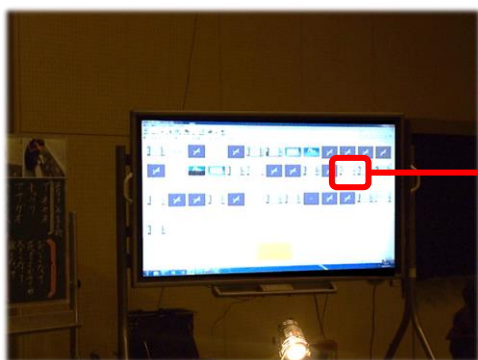
授業支援ソフトを使い、指定したグループのタブレット画面を電子黒板に転送します。タブレットを持ち歩いたり接続し直したりせずすむので、時間短縮に効果的です。



## 活用例

### 全グループの活動を確認

授業支援ソフトの巡視モードで、電子黒板に全グループのタブレット画面を一覧表示します。活動の進み具合を確認しながら、どのグループに発表させるかを決めます。



## 発表グループの画面を拡大表示

発表するグループの画面を拡大表示します。大きく表示できるので、みんなの視線を集めて発表ができます。



## ●OnePoint

### 簡単で効果的なタブレット活用法、カメラで撮って大きく映して説明

紙の資料や理科の実験などをタブレットのカメラで撮り、その写真を指し示しながら説明する活動は簡単で、すぐに実践できます。さらに授業支援ソフトでタブレット画面を電子黒板に転送すれば、クラス全体で共有が可能です。カメラ活用も画面転送も非常に簡単なので、低学年やタブレット導入直後でも効果的に活用できます。

3年  
理科

# どれくらい育ったかな

1人1台

さいたま市立七里小学校

## ●目標

- 植物の成長の変化に興味を持ち、育ててきた植物の観察や花壇に植え替える活動を通し、植物の体は、葉、茎、根からできていることを捉えることができる。
- 校庭や野原などに見られるほかの植物とも比較して、植物の体は共通のつくりをしていることを捉えることができる。

## ●本時のめあて




植物の体を比較し、どれも葉、茎、根からできていることを理解する。

## ●ICT活用のポイント

- 写真で植物の成長記録を正確に残せ、時間が経っても明確に振り返りができる。絵や文章の得意不得意による差も生じない。
- 写真を指差して話すことで、自分の思いや考えを聞き手に伝えやすくなり、話し合いが活発になる。
- 複数のタブレット画面を電子黒板に一度に投影でき、全体で考えを比較することが短時間でできる。

## ●利用するスマイルクラスの機能

- デジタルノート
- 授業支援ソフト

	学習活動	ICT活用
個別 導入	<p>1. 前時までの振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前時に書いた観察カードや各自撮影した写真を見て、自分が調べた植物の体のつくりを振り返る。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>植物の体は、どんな部分からできているのだろうか。</p> </div>	<p><b>写真を指差し伝え合う</b></p>  <p>タブレット端末で撮影した写真を指し示し、考えをわかりやすく伝える。</p>
協働 展開	<p>2. 同じ植物を調べた児童どうして調べたことを伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>聞き手に伝わりやすいよう写真を指で示しながら話し、各自気付いたことを写真に書き込む。</li> </ul> <p>3. 異なった植物を調べた児童どうして植物の体のつくりについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3種類の植物を比べて体のつくりの共通点を話し合い、画用紙にまとめる。比べやすいように観察カードや写真を並べて、みんなで一方向から観察させる。</li> </ul> <p>4. 話し合ったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電子黒板に3種類の植物の写真を提示し、みんなで似ているところを見比べながら、植物の体のつくりの共通性を共有する。</li> </ul>	<p><b>絵や写真を比べて話し合う</b></p>  <p>観察カード(絵)やタブレット端末の写真を並べて、似ている点を探す。</p>
協働 まとめ	<p>5. 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童の手でプランターから異なる種類の植物を掘り出させ、どんな植物でも葉、茎、根があることを調べる。実物投影機に映して確認する。</li> </ul>	<p><b>共通点をクラス共有</b></p>  <p>電子黒板にタブレット端末の画面を大きく映し、共通点を発表する。</p>
個別	<p>6. 本時の学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習感想を書かせ、幾つかの感想を取り上げて賞賛し、今後の学習活動に意欲を持てるようにする。</li> </ul>	



# ジャストスマイル クラス 活用ポイント

1. 写真に書き込み、指差し、わかりやすく伝える
2. 複数のタブレット画面を電子黒板に並べて比較



デジタルノート 授業支援ソフト

## 活用例

### 写真を観察して考えを書き込む

観察カードも見ながら、各自撮影した植物の写真に気付いた点を書き込んでいく。写真を撮っておくことで、しおれることもなく、絵の得意不得意に関わらず、学習できる。



### タブレット端末で記録し振り返る

タブレット端末で写真に撮り、成長の過程を振り返ったり、拡大して観察したり、気付いたことを書き込んだり、指し示して説明したりなど、学習活動に役立てられる。



画面に考えを書き込む

## 活用例

### いろんな植物を並べて比較

班毎に異なる植物の体のつくりを伝え合い、共通点を話し合う。「くらべる言葉」を参考に画用紙にまとめることで、自信を持ってスムーズに発表できる。



比べて紙にまとめる

くらべる言葉

- いくらべると
- 〇△×のちがひ
- より
- と同じ
- どちらが
- の方が

### 複数のタブレット画面を電子黒板に表示

児童機の画面一覧から複数の画面を選んで電子黒板に表示し、植物の体のつくりの共通点を発表・共有する。共通点がどんな植物でも同じことを実物で確認する。



発表して実物で確認する

先生が児童機を選んで表示

## ●OnePoint

### ICTと実物を組み合わせ、学習意欲の向上と主体的・協働的な学びを促進

この授業実践ではとても効果的にICTが活用されている。タブレット端末を記録と提示に使い話し合いを活発化させ、それを電子黒板で大きく映してクラス全体で考えを共有するのに役立っている。また、発表で伝える要点を紙でまとめたり、実物に触れて確認したりするなど、アクティブ・ラーナーを育む授業設計がされている。

3・4年  
国語

要約して紹介しよう

「かるた」【3年生】

「ウナギのなぞを追って」【4年生】

1ペア1台

国立大学法人和歌山大学教育学部附属小学校

● 目的

- 文章を読み、目的に応じて要約することができる。
- 接続語や指示語の役割を理解して使うことができる。

● 本時のめあて

【3年生】 中心となる語や文を見つけることができる。

【4年生】 中心となる語や文章をとらえながら、文章を要約することができる。

● ICT活用のポイント

- 単元の目的である、文章の要約にあたって、スペースや字数が限られるプレゼンシートをタブレット上で作ることを通じて、要約という取り組みに必然性を持たせる。
- 全体交流を通じた他の考えとの比較、その内容を受けたプレゼンシートの手直しにおいても、ICTの利便性を活用。複式学級において重要な自主的な活動を活性化させる。

● 利用するスマイルクラスの機能

- はっぴょう名人
- 授業支援ソフト

	学習活動（複式学級）		ICT活用
	3年生	4年生	
一斉 導入	<p>1. 学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">3段落のプレゼンシートを作ろう</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>前時に作った2段落のシートを見返し、小見出しを付ける、キーワードを見つけるという作り方を確認して音読する。</li> </ul>	<p>1. 学習課題を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最初に音読をしてから、本時の課題を確認する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">5段落のプレゼンシートを作ろう</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>要約の仕方、プレゼンシートの作り方を確認する。</li> </ul>	<p>ペアでプレゼンシート作成</p>  <p>読んだ文から小見出しを作り、キーワードを選び出して要約し、プレゼンシートを作る。</p>
協働 展開	<p>2. プレゼンシートを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ペアになって意見を交わしながら、タブレット上でプレゼンシートを作る。</li> </ul> <p>3. 全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>適切なキーワードが選んでいるか、相手（1,2年生）を意識したプレゼンになっているかについて意見を述べ合う。</li> </ul>	<p>2. プレゼンシートを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ペアになって意見を交わしながら、タブレット上でプレゼンシートを作る。</li> </ul> <p>3. 全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>適切なキーワードが選んでいるか、相手（3年生）を意識したプレゼンになっているかについて意見を述べ合う。</li> </ul>	<p>スクリーンで全体交流する</p>  <p>ペアで作ったプレゼンシートを共有して全体で交流する。複式学級の特徴を生かした学び合いも行われる。</p>
協働 まとめ	<p>4. 本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全体交流の中で出てきたポイントなどを中心に、学んだことの定着をはかる。</li> </ul>	<p>4. さらに要約を進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作ったプレゼンシートに使った語や文を接続語でつなぎ、段落を短い文章にまとめる。</li> </ul>	<p>より要約を進める(4年生)</p>  <p>作ったプレゼンシートをもとに、語や文を適切につないで要約を進める。</p>



# ジャストスマイル クラス 活用ポイント

1. 主題を読み取り、伝わる文章に要約
2. タブレット画面を共有して話し合い



はっぴょう名人 授業支援ソフト

## 活用例

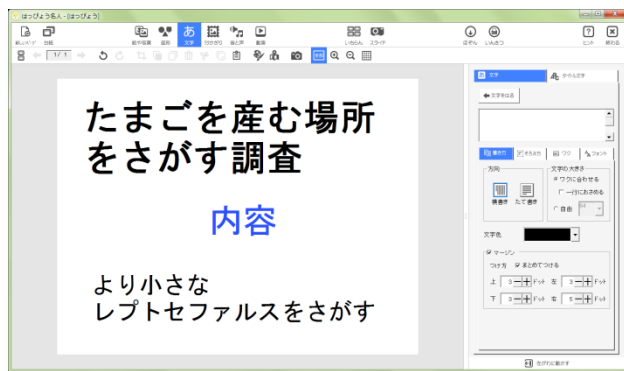
### 簡潔な文章に要約

本真に言いたいことが伝わるプレゼンを作成するため、もとの文章の主題を読み取り、修飾部分を削って簡潔な文章になるよう編集します。



### 要約できたら、そのままデザイン編集

プレゼンソフトを使って要約していきます。要約できたら、文字サイズの調整や補足説明などを補い、伝わりやすく編集します。相談して何度でも試しながら編集できます。



## 活用例

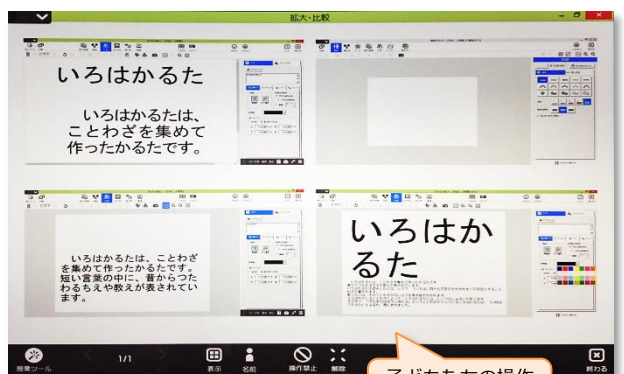
### 全画面を共有して話し合い

複式学級で児童数の少ないため、電子黒板で4台全てのタブレット画面を一度に共有します。上手く表現できた点や改善点などを、学年全体で比較しながら話し合います。



### 巡視機能で全てのタブレット画面を確認

授業支援の巡視機能を使えば、離れた場所においてもどんな作業をしているか確認できます。4分割画面を電子黒板に投影すれば、相互に比較でき話し合い活動に役立ちます。



## ●OnePoint

### ICT活用で授業を効率化し、先生の指導時間を創り出す

和歌山大学教育学部附属小学校では、研究のため複式学級を設けています。ICTを活用することで、先生の手元で児童機の画面を巡視できたり、紙プリントを配付・回収・掲示する時間を削減するなど、授業を効率化できます。複式学級では先生が指導に専念できるよう、ICTを上手く活用した効率的な授業環境が生まれます。



5年  
社会

# 水産業 ～なぜ焼津港に多くのカツオが水揚げされるのだろう～

1人1台

京都市立梅小路小学校

## ●単元の目標

- 我が国の水産業に関心を持ち、国民の食生活を支えていることや、輸入があること、従事している人々の工夫や努力、生産地と消費地を結ぶ運輸の働きなどを理解し、国民生活を支える水産業の発展について考える。
- 図、写真、映像、グラフ、地図などの資料を読み取り、自分の考えに根拠を持って伝えることができる。

## ●本時のめあて

焼津港に多くのカツオが水揚げされる理由をみんなで調べて発表しよう。

## ●タブレット活用のポイント

- カメラを活用して資料を取り込んだり、手書きで伝えたいコメントを書き込むなど、効果的に伝える発表資料を素早く作成する。
- 写真を撮り直したり、コメントを書き直したり、何度でもやり直しができるので、試行錯誤しながら考えをまとめ上げる活動に役立つ。
- タブレットの画面を電子黒板に転送し、大きく映して説明できる。時間短縮にもつながる。

## ●利用するスマイルクラスの機能

- シナリオカード
- 授業支援ソフトの画面転送

	学習活動	活動風景
一斉 導入	<p>1. 課題の確認 (3分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">                     焼津港に多くのカツオが水揚げされる理由をみんなで調べて発表しよう。                 </div>	<p>グループ交流</p>  <p>資料のどこに書かれていたかなど、根拠を示しながら意見共有</p>
協働	<p>2. グループ交流 (10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>家で資料を読み、自分の意見をまとめたワークシートをもとにグループで話し合う。(反転学習)</li> <li>あまり書けていない子から発言させる。</li> <li>根拠を明らかに示しながら自分の意見を伝える。</li> <li>ワークシートにともだちの意見も追加して書き込む。</li> </ul>	<p>クラス交流</p>  <p>みんなに向かって発言、意見が出尽くすまで次々と発言をつなぐ</p>
展開	<p>3. クラス交流 (25分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>意見を出し合い、クラス全体の意見を共有するとともに、意見を集約する。</li> <li>クラス交流できるよう、みんなの方を向いて発言させる。</li> <li>焼津港の「位置」と「施設」の分類を意識して、黒板に発言を書き並べる。</li> <li>どちらの分類かわからない意見は、示唆を与えて理由を深掘りする。 「東京や名古屋で新鮮なカツオを食べられるようになったのは、なぜですか？」など。</li> </ul>	
協働 まとめ	<p>4. まとめ・発表 (7分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>シナリオカードを使い発表資料を作成し、電子黒板に映して発表する。</li> <li>カメラを使って紙の資料を取り込ませる。資料を示してわかりやすく伝えるよう工夫させる。</li> <li>コメントは大きく短く示すように、手書きにする。</li> <li>発表資料の基本パターンを再確認する。 伝える順番は「1.課題、2.結論、3.根拠」</li> </ul>	<p>まとめ・発表</p>  <p>論点をおさえた資料を素早く作成、大画面で効果的・効率的に発表</p>



# ジャストスマイル クラス 活用ポイント

1. 根拠にもとづいた説明を素早く資料化
2. タブレット画面を転送し発表を効率化



シナリオカード 授業支援ソフト

## 活用例

### レポート活動で振り返り

授業の最後7分でまとめて発表するなど、振り返り、自分のことばでまとめる活動を繰り返すことで、授業に集中するようになり、思考・判断・表現力を高めます。



## 根拠に基づいた意見を素早くまとめる

カメラを使って表やグラフ、写真や映像を簡単に取り込めます。手書きでコメントを付けたり、作成したカードを並び替えて、根拠を示した資料を素早く作成できます。



## 活用例

### 授業時間の有効利用

発表のとき、子どもの移動や資料を映し出すのに結構時間がかかります。高学年では、画面を電子黒板に転送し、自分の席から発表し、授業時間を有効に使っています。



## タブレット画面を電子黒板に転送

送信元のPCと送信先のPC（電子黒板の提示機含む）を指定し画面を転送します。転送元のPCの操作も、そのまま転送先に反映されるので、書き込みながら説明もできます。



### ●先生のコメント

#### 「つなげる」学びにタブレットを活用

資料を関連させて「つなげる」のも勿論、自分と他人の意見を「つなげる」ことを意識してグループ交流しています。全体交流では、実社会と「つなげ」て経済活動や地域の例をあげて交流し深めています。最後にタブレットで自分の考えをまとめて発表しています。



5年  
家庭

# ミシンにトライ！手作りで楽しい生活

 1ペア1台

水戸市立国田義務教育学校

## ●目標

- 製作に必要な材料や用具が分かり、ボックスティッシュカバーの製作手順について理解することができる。

## ●本時のめあて



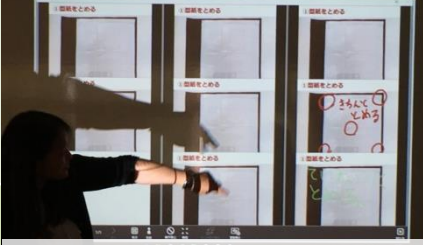
**ボックスティッシュカバーの製作計画を立てよう。**

## ●ICT活用のポイント

- ボックスティッシュカバーを完成させる工程写真をカードにし、ペアで話し合いながらカードを並び替えることで、製作手順の理解が深まる。
- ペアで考えた製作手順をプロジェクトで大きく投影して共有できる。

## ●利用するスマイルクラスの機能

- シナリオカード
- 授業支援ソフト

	学習活動	ICT活用
一斉 導入	<p><b>1. 本時の学習課題を知る。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>材料の布と製作品を提示することで、これからの学習活動のおおまかな見通しをもたせる。</li> </ul> <p>ボックスティッシュカバーの製作計画を立てよう。</p>	<p><b>製作工程を考える</b></p>  <p>製作工程の画像を用意しておき、並び替えて完成させるよう指導する。</p>
展開 協働	<p><b>2. どのような材料や用具、製作工程がありそうかを予想する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>手縫いでポケットティッシュケースを製作した学習を思い起こし、型紙やまち針などの用具の必要性に気付けるようにする。</li> </ul> <p><b>3. 材料の布が製作品に変わるまでの工程を写真でたどり、必要な材料や用具、製作工程を確認する。</b></p> <p>(1) 製作手順を考え、カードを並び替える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>シナリオカードに保存してある画像一覧（カード）を提示し、画像を比較することから見える変容を手がかりにカードを並び替え、製作手順を考えられるようにする。</li> <li>ポイントだと思うカードには、印やコメントを書き込む。</li> </ul> <p>(2) 製作手順を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実物の製作工程見本を提示することで、実物の大きさや布の質感を受け、製作活動のイメージを膨らませられるようにする。</li> <li>返し口を縫う、ボタンをかけるところを留める工程等、細かい部分の製作作業は拡大画像で分かりやすく提示する。</li> </ul> <p>(3) 必要な材料、用具を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ミシン、アイロン、アイロン台、裁縫セット</li> </ul>	<p><b>意見を出し合い深め合う</b></p>  <p>製作工程の写真を比較し、相談しながら手順を並び替える。</p>
まとめ	<p><b>4. 本時の学習をまとめ、振り返る。</b></p> <p>(1) ワークシートで製作手順を確認する。</p> <p>(2) 本時の学習を振り返る。</p>	<p><b>拡大して作業ポイント確認</b></p>  <p>各ペアで書き込んだポイントを拡大し、分かりやすく提示する。</p>



# ジャストスマイル クラス 活用ポイント

1. 製作工程を比べながら並び替え
2. 他グループの意見も一覽でポイントを確認



シナリオカード 授業サポーター

## 活用例

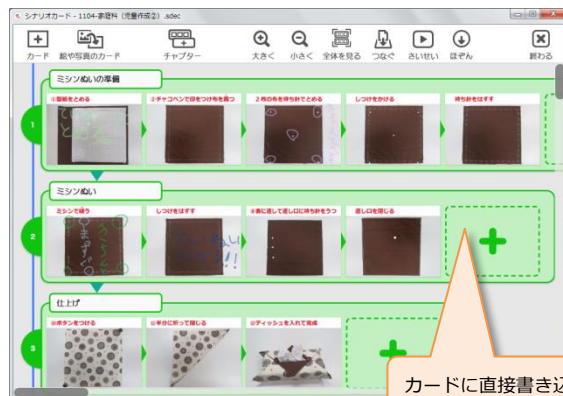
### 実物と比較して確認

実物の製作工程見本とカードを比べながら、友達と相談して順番を考えます。



## ポイントをカードに書き込む

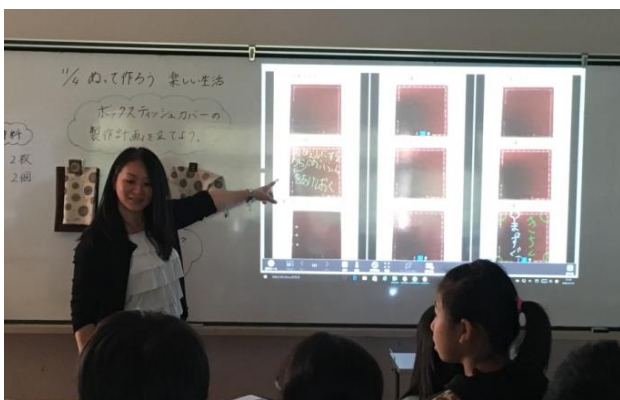
カードに書き込みが可能。印やコメントを付けることで、気を付けるポイントが整理され、製作工程がより理解しやすくなります。



## 活用例

### クラス全員の考えを比較できる

授業サポーターで児童のタブレットの画面を一覧表示することで、各ペアで考えた製作工程の順番を確認したり、クラス全員の考えを比較したりできます。



## 授業サポーターの9画面分割

授業サポーターでは、2～9画面まで大きく一覽表示ができるため、ペアやグループ活動時に最適です。



### ●OnePoint

### 製作工程の画像を比較することで、手順について理解する

カードになった画像を並び替え、見比べたり、製作のポイントとなるカードに書き込んだりすることが容易にできるため、工程についてじっくり検討できる。あらかじめ製作工程の見本をシナリオカードで撮影し、配布するだけなので手順を学ばせるための準備も簡単。

6年  
家庭科

# 1食分の献立を工夫しよう

1人1台

青木村立青木小学校

● 目的

- 家族のために作ろうと各自で考えた献立について、友だちと意見交換しながら食品を加えたり入れ替えたりして、さらに家族に喜んでもらえるよう工夫する。
- タブレットで作成した献立表を示しながら、伝えたいことを分かりやすく説明する。

● 本時のめあて




友だちの意見を生かしながら、家族に喜んでもらえる献立を工夫する。

● ICT活用のポイント

- 前時までに各自で作った献立表のフォーマットに沿って、先生が用意した給食のメニューについて解説を聞き、自分の献立の改善について考える。
- 友だちから付せんでもらったアドバイスを咀嚼しながらタブレット上で整理することで、自分の献立を工夫し、発表する。

● 利用するスマイルクラスの機能

- 一太郎スマイル
- 授業支援ソフト

	学習活動	ICT活用
一斉 導入	<p>1. 本時の学習課題を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 前時までに作った献立表のフォーマットに沿って、以前に給食で提供されたメニューの食品と栄養素について見せ、栄養バランスや色どりなど、献立の工夫についての見通しを持たせる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>自分の献立を家族に喜んでもらうため さらに工夫しよう</p> </div>	<p>献立表を見比べて考える</p>  <p>自分の献立表と、給食の献立表を見ながら工夫の余地について考える。</p>
個別	<p>2. 自分の考えた献立を見直し、加えたい食品を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● タブレット上の自分の献立表を参照しながら、ワークシート（紙）に、改善の工夫について書き込む。</li> </ul>	<p>友だちの意見を取り入れる</p>  <p>友だちのアドバイスを咀嚼しながらタブレット上で整理する。</p>
協働 展開	<p>3. 各班で互いの献立を発表し合い、工夫について意見を出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 自分の献立を班のメンバーに発表するときは、献立のテーマや工夫したいポイントを伝えるようにする。</li> <li>● 友だちの献立にどんな食品を加えれば良くなるか、付せんに食品名と理由を書き、互いのワークシートに貼りながら意見交換をする。</li> <li>● 友だちからのアドバイスを各自で検討し、タブレット上の献立表に食品イラストで貼り付け、その理由について書く。</li> </ul>	<p>電子黒板で全体共有する</p>  <p>友だちのアドバイスを受け、タブレットでまとめた献立表を、電子黒板に表示させて説明する。</p>
協働 まとめ	<p>4. 工夫について共有し、学習のまとめを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 友だちの意見を取り入れて献立を改善できた児童の献立表を電子黒板で表示し、本人に改善点を発表させる。</li> <li>● 本時の学習を振り返り、実際の調理に向け意識づけをする。</li> </ul>	



# ジャストスマイル クラス 活用ポイント

1. イラストを使って手軽に視覚的に分類
2. 手元の資料をすぐに電子黒板に反映



一太郎スマイル 授業支援ソフト

## 活用例

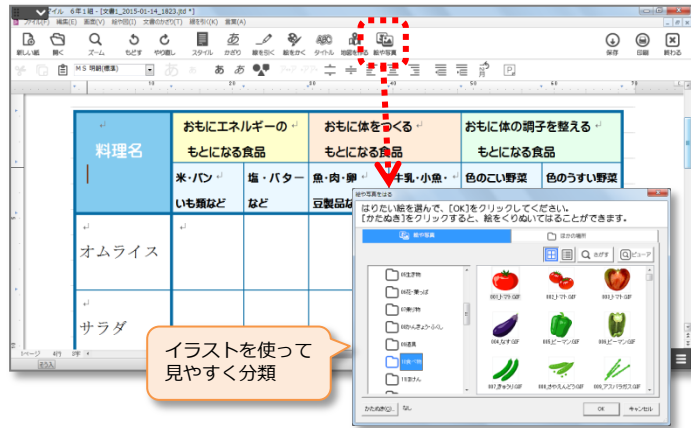
### 栄養素別に食品进行分类

食材を視覚的に動かして試行錯誤するなど、イラストを使うことで楽しく活動できます。栄養バランスのテンプレートを用意し、料理に使う食材进行分类しています。



## 豊富なイラストで準備も楽々

「絵や写真」メニューから様々なイラストを呼び出して使えるほか、先生が用意したイラストも呼び出せます。豊富なイラストに手を加えて利用することも可能です。



イラストを使って見やすく分類

## 活用例

### 話し合いで献立を改善

タブレットを使い、自分の考えた献立をグループ内で発表。どんな食品を加えれば栄養バランスの良い献立になるか、付せん（紙）に書いてアドバイスし合います。



付せん(紙)にどんどん書いてアドバイスし合う

タブレットで見せて献立をグループ共有。編集と発表ができ効率的

## 発表者を選ぶのに役立つ巡視画面

授業支援で画面を巡視し、児童の話し合いの進捗具合を確認したり、発表させる児童を選んだりできます。発表時にはそのまま拡大表示でき、時間短縮にもなります。



## ●OnePoint

### ICTを適材適所で活用し、アナログとデジタルの良いところどり

青木小学校は4年生以上で1人1台タブレットを運用中ですが、タブレットばかりを使った授業では、子どもの顔が画面を向きがちになってしまうとのこと。そこで今回の授業は、個人作業にタブレットを使い、友だちと足りない栄養素を教え合う活動には付せん(紙)を使うことで、デジタルとアナログの活用バランスをとりました。

6年  
道徳

# 私のいもうと いじめについて考える

1人1台

熊谷市立熊谷西小学校

## ● 目標

- いじめについて、自分の考え以外にも、いろいろな考えがあることを知る。
- 一人ひとりが傍観者にならず、いじめを許さない集団になるために、自分にできることを考える。

## ● 本時のめあて

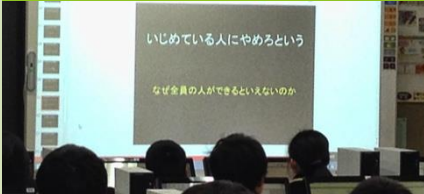
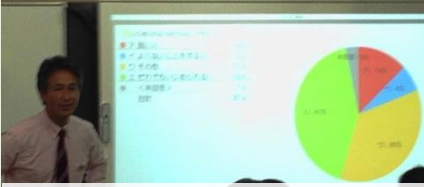
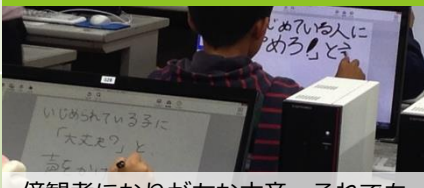
自分にできるいじめ撲滅の方法について考え、発表し合う。

## ● ICT活用のポイント

- 画面共有を生かして、手元で絵本を見つめながら、読み聞かせに耳を傾け、考えさせる。
- アンケート機能を使い、自分の考えと友だちの考えを比較して考えさせる。
- 手書きによって胸の内を表現させ、決意を固めさせる。それをデジタルノートで共有することで、クラスを挙げたいじめ撲滅への意識を持たせる。

## ● 利用するスマイルクラスの機能

- 授業支援（画面転送・アンケート）
- デジタルノート

	学習活動	ICT活用
一斉 導入	<p>1. 絵本『私のいもうと』を見て、いじめについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スクリーンに絵本のページを表示させながら、松谷みよこ『私のいもうと』を読み聞かせる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: 60%;">                     いじめについて考えよう。                 </div>	<p><b>絵本の読み聞かせを聞く</b></p>  <p>スクリーンで絵本を見ながら読み聞かせを聞き、いじめについて考える。</p>
一斉 展開 協働	<p>2. 自分たちのクラスについて考え、いじめの問題を自分ごととしてとらえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「クラスの中に、友だちがいない人はいますか」など、アンケート機能を使ってクラスの状況について考える。</li> <li>「いじめる人／いじめられる人はどんな人だと思いますか」「こまったことがあったら、誰に相談しますか」などのアンケートを通じ、いじめやその対処についての考えの多様性を知る。</li> </ul> <p>3. 気持ちや考えをデジタルノートに手書きし、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いじめ見たとき、いじている人に「やめろ」と言えるかを問い、なかなか言えない理由について、デジタルノートに手書きさせ、発表させる。</li> <li>いじめをやめさせることの難しさを共有した上で、自分にできるいじめ撲滅の方法を、同じくデジタルノートに書いて発表する。胸の内や決意といった思いを手書きで表現する。</li> </ul>	<p><b>アンケートを通じて考える</b></p>  <p>アンケートに答え、その結果の共有を通じて、いじめについて考える。</p>
個別 まとめ	<p>4. ネット上でさらにたくさんの考えに触れ、自分ができることを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ネット上に掲載されている、他の小学生たちが考えたいじめ対策を読み、自分ならどうするかをもう一度考えて、自分の「いじめカード」（紙）に手書きする。</li> </ul>	<p><b>デジタルノートで手書き共有</b></p>  <p>傍観者になりがちな本音、それでもいじめ撲滅のためできることを、デジタルノートに手書きして発表する。</p>



# ジャストスマイル クラス 活用ポイント

1. アンケートを通じて、多様な考え方に触れる
2. 思いを込めた手書きノートを素早く共有する



アンケート

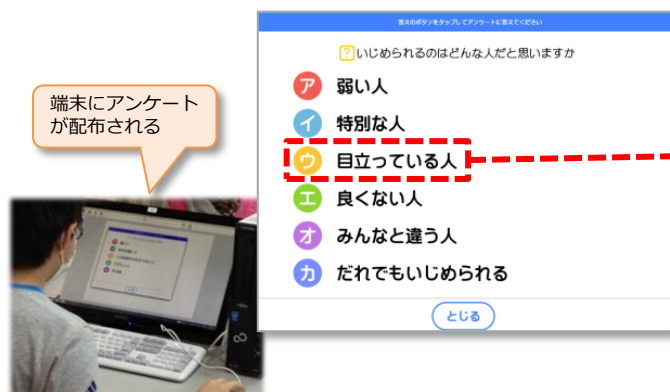


デジタルノート

## 活用例

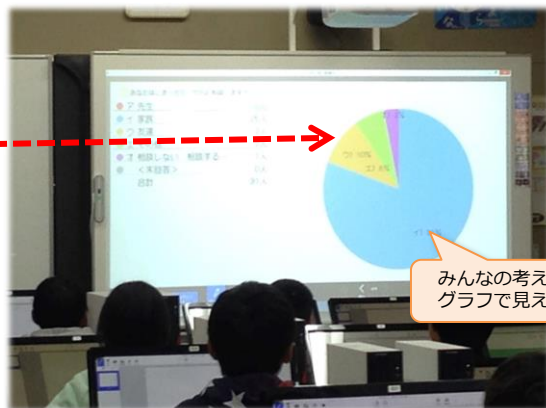
### 自分と違う考えに気付く

道徳のように正解のない問いや挙手しにくい問いでも、アンケートならすぐに回答できます。どれを選択するか考えることで、多様な考えがあることに気付きます。



### みんなの考えがグラフで見える

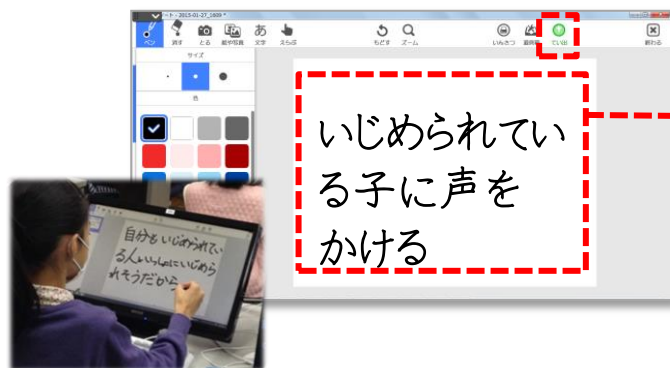
各自の端末に配布された選択肢をタップすると、電子黒板の円グラフに瞬時に反映されます。クラス全体の考えの移り変わりを参考にして回答を変えることもできます。



## 活用例

### 書くことで考えをまとめる

「いじめをやめろといえない理由」や「いじめを撲滅する方法」など、文字に書き起こすことで考えをまとめます。みんなで共有し、いじめ対策の行動を決めます。



### クラスの様々な意見を共有・取り上げ可能

共有画面を一覧しながら、先生が様々な考えを取り上げることができます。紙のノートと違って即時に意見共有でき、一人では思いつかなかった多くの考え方に触れられます。



## ●OnePoint

### PC+タッチパネル式ディスプレイで、PCとタブレットのいいところ取りを狙う

熊谷西小のPC教室では、タブレットではなく、デスクトップPCにタッチパネル式ディスプレイを組み合わせて活用しています。PC教室の安定したネットワーク環境と、タブレットよりも大きく、しかもタッチ操作ができるディスプレイの組み合わせで、学習の内容に合わせてPC的、タブレット的両面の幅広い活用が可能です。